

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 小鹿野福祉会	代表者	理事長 近藤 良一	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での暮らしを継続するためもうひとつの家になるよう、住み慣れた地域で安心してその人らしい生き方の実現を理念に掲げ運営しております。 ・ご利用者やご家族と馴染みの関係を築きながら、地域の中で居心地よく利用ができるよう、きめ細やかな支援をしていきます。
事業所名	小規模多機能ホーム 巨香の郷	管理者	嶋田 一恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	1人	1人	人	人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の多機能ホーム巨香の郷運営会議時に、事業運営の振り返りと進捗状況を伝え、多くの職員と意見交換を行いながら、運営していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の多機能ホーム運営会議時に、職員に事業所運営の振り返りと進捗状況を伝え、運営について意見交換ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で、事業所評価改善計画の達成状況の説明があった。 ・未達成な改善計画は、次年度も同じ改善項目でもよいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、職員が主体性を持って事業所運営に携われるよう、改善計画を職員会議やミーティングで伝えいき、振り返っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も5S活動強化月間を作り、整理整頓を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年末に、5S活動強化月間と称し、全居室とリビングの床掃除を実施した。 又、ユニットの整理、整頓を意識して行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5S活動強化月間があるのはよいこと。 ・施設内はいつも明るい雰囲気を感じる。 ・最近、物騒な事件もあるので、防犯カメラを設置したことはよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの飾り付けや整理や整頓を継続していく。 ・開設から11年が経過し、設備の老朽化が見られるため修繕が必要である。 早急にできる物、予算を立てて計画的に進める物を判断し実行する。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能ホームのご利用者の特養ホームのご利用者が近所だったり知人だったりする。利用中面会等で関わりがもてるよう積極的に支援する。 ・今年度も、作品展行事等の開催をチラシ配布や掲示をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策をしながら、特養ホームのご利用者との面会や交流を行うことができた。 ・今年も、作品展行事等の開催に併せてチラシの配布や掲示し、作品展にはご利用者、ご家族が見に来てくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設に入っても、家族以外の面会があることは、巨香の郷の特徴だと思う。 ・外食レクは、ご利用者が楽しんでもらえるよう考えたり、事業所が積極的に地域と関わるようにしていると思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも、多機能ホームと特養ホームのご利用者の面会を続けていく。 ・不定期だった外食レクを年間行事計画にいれ、年1回実施する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ご利用者の要望に合わせて美容院や商店に出向き、暮らしを支える取組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の要望に合わせて、行きつけの美容院や商店に付き添った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行きつけの美容院に連れていってくれるのは助かるが、事業所はどこまで対応するかをある程度決めておく方がよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人要望の美容院や商店の付き添い支援は町内とし、付き添い支援を続けていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も、運営推進会議で事例報告を行い意見や感想をいただく。報告する機会があれば、他の会議で事例を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で事例を伝え、事業所の対応について報告した。委員からは感想をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で事例の対応や改善点も報告をしているので、引き続き行ってほしい。 ・運営会議で、地域の心配の方等の事例検討の報告はなかった。事例がなければ、ない旨を会議で報告するのがよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、個人情報に注意しながら運営推進会議で事例の報告を行い、委員の方から意見を頂戴していく。 ・地域の心配の方等の事例があれば報告し、なければない旨を伝える。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で、法人の防災計画を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議で、茂木副施設長から法人の防災計画の説明を行った。総合ケアセンター巨香の郷の年2回の防災訓練も報告した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巨香の郷と小鹿野苑は、福祉避難場所になっていることが分かった。 又、センターの防災設備と備品が理解できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も、小鹿野福祉会の防災計画を伝え、委員や地域の方に福祉避難場所であることを周知していく。 ・職員は、職員研修でセンターの防災設備と備品を確認する。